

2016年度 全日本学生ヨット個人選手権大会

2016年 全日本学生シングルハンドレガッタ

大会期日：2016年(平成28年)9月1日(木)～2016年(平成28年)9月4日(日)

開催地：兵庫県西宮市 新西宮ヨットハーバー (〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜4-16-1)

共同主催：全日本学生ヨット連盟、関西学生ヨット連盟

公認：公益財団法人日本セーリング連盟 (承認番号 H28-13)

後援：兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県体育協会、西宮市、西宮市教育委員会、
兵庫県セーリング連盟、関西470協会、関西スナイプ協会 他未定

特別協賛：未定

協力：新西宮ヨットハーバー株式会社 他未定

レース公示

1. 規則

- 1.1 本大会には、『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。
- 1.2 『全日本学生ヨット連盟規約』、『470学連申し合わせ事項』、『スナイプ級学連申し合わせ事項(ただし、スナイプ級学連申し合わせ事項I.2は適用しない)』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 1.3 規則40『個人用浮揚用具』を次のように変更する。
『水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に替えたり整えたりする場合を除き、競技者は個人用浮揚用具を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは、個人用浮揚用具ではない。この項は第4章前文を変更している。』

2. 競技種目

2016年度 全日本学生ヨット個人選手権大会：国際470級、国際スナイプ級

2016年 全日本学生シングルハンドレガッタ：レーザー級

3. 日程

- 3.1 受付、大会計測、競技運営説明会、開会式

行事	日時	場所(予定)
受付	9月1日(木) 09:00～17:00	ディンギーヤード内 陸上本部
	9月2日(金) 08:00～09:30	
大会計測	9月1日(木) 11:00～17:00	ディンギーヤード内 陸上本部
	9月2日(金) 08:00～09:30	
競技運営説明会	9月2日(金) 10:00～10:15	本館2階・シャイニーホール
開会式	9月2日(金) 10:30～11:00	本館前・修景護岸

- 3.2 予定されるレース日程と1日あたりのレース数は次のとおりとする。

日付	国際470級	国際スナイプ級	レーザー級
9月2日(金)	3 レース	3 レース	3 レース
9月3日(土)	4 レース	4 レース	4 レース
9月4日(日)	2 レース	2 レース	2 レース
合計	9 レース	9 レース	9 レース

- 3.3 9月2日(金)は、4レース、9月3日(土)は、5レースを行うことがある。
- 3.4 9月2日(金)の最初のレースの予告信号の予定時刻は12:50、9月3日(土)と9月4日(日)の最初のレースの予告信号の予定時刻は09:25とする。
- 3.5 9月4日(日)は13:00より後に予告信号を発しない。
- 3.6 表彰式と閉会式は、9月4日(日)最終レース終了後に行う。

4. 参加資格

- (1) 各水域における予選を行い、各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学の艇とする。
- (2) 国際470級、国際スナイプ級の各水域の推薦枠は次のとおりとする。

北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州	計
2	2	14	4	6	7	4	2	6	47

- (3) 参加競技者は、次の項目を満たしていなければならない。
 - (a) 全日本学生ヨット連盟規約第6条に定められた競技出場資格を満たしていること。

全日本学生ヨット連盟規約：第6条 連盟主催、主管及び公認ヨット競技の出場資格は、以下のとおりとする。

(1) 加盟大学に学籍のある者。ただし、通信教育部生は除く。

(2) 出場可能年数は入学時より4年間とする。

(b) 各水域予選出場時点で2016年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。

(c) スポーツ安全保険に加入していること。

(d) 国際470級の競技者は、日本470協会2016年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。

(e) 国際スナイプ級の競技者は、各水域予選出場時点で2016年度日本スナイプ協会会員であること。

(4) 参加艇の監督及びコーチは、2016年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。

(5) 国際470級と国際スナイプ級は1艇につき3名まで、レーザー級は1艇1名の登録(エントリー)を認める。ただし、同じ競技者が複数の艇に登録(エントリー)することは認めない。

(6) 国際470級と国際スナイプ級の乗員は1艇につき2名とし、その艇に登録(エントリー)した競技者での交替を行なう。ただし、ヘルムスマンの交替は認めない。

(a) 水上で乗員交替をする場合は、届出た艇(所属する大学)の支援艇等を利用すること。

(b) 主催団体では、乗員交替用の舟艇は準備しない。

5. 艇

5.1 艇は原則所属校の所有艇でなければならない。ただし、レース委員会が承認した場合にのみ、チャーター艇を認める。

5.2 国際スナイプ級は、2016年度登録を完了し、艇体に2016年度のデコールが貼られていること。

5.3 レーザー級は、主催団体がチャーター艇を準備する。ただし、チャーター艇の艇数に限りがあるので先着順とする。

5.4 艇のスターボード側、ポート側両方のハルに、バウの先端から600mmの間で、レース委員会が準備した識別番号(以下「バウナンバー」と呼ぶ)シールを、【添付図A】に示す位置に貼り付けなければならない。

6. セール

6.1 参加艇が用意した1セットの予備セールを含む2セットまでとする。

6.2 レーザー級のセールは、主催団体が用意したチャーターセールの使用を認める。

6.3 同一のセール番号、同一の識別番号を同時に使用してはならない。各クラス協会に登録されたセール番号以外の番号を使用してはならない。

6.4 国際470級のメイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。予備セールを使用する場合はこの限りではない。

6.5 予備セールの使用は、セールの紛失又は補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、事前にレース委員会の承認を得なければならない。

6.6 レース艇のセールには、レース委員会が準備した識別番号シールを、【添付図A】に示す位置に、メイン・セールの上部にスターボード側を上にして、重ならないように付けなければならない。

6.7 識別番号シール、バウナンバーシール、及び識別番号割当表は、受付時に配布する。

7. 参加申込

7.1 以下の参加申込書に必要事項を記入の上、添付すべき書類とともに、8月8日(月)中に申込み先に到着するよう郵送すること。

(a) 参加申込書-1 (参加申込書) (b) 参加申込書-2 (参加申込み・振込合計表)

(c) 参加申込書-3 (支援艇・許可申請書) (d) 参加申込書-4 (応援艇・許可申請書)

参加申込書に添付すべき書類

① 参加申込書に記載した競技者全員の『2016年度(公財)日本セーリング連盟会員証の写し』

② スポーツ安全保険の『保険証書の写し』(参加申込書に記載した競技者の名前が記載されたもの)

③ 支援艇、応援艇の艇長の『(公財)日本セーリング連盟会員証写し』

7.2 参加申込先：平成28年度 関西学生ヨット連盟 委員長：青木 雄太

〒551-0021 大阪市大正区南恩加島 2-13-9 電話番号：080-3838-9334

7.3 7.1(a)参加申込書-1(参加申込書)、(b)参加申込書-2(参加申込み・振込合計表)エクセル形式で作成したものを、8月8日(月)中にeメールに添付し、以下の①~⑥全てのeメールアドレスに送付すること。

平成28年度 関西学生 ヨット連盟	役職	氏名	PCアドレス	その他アドレス
	委員長	青木 雄太	①a656782fd788w@zeus.eonet.ne.jp	④a656782fd7h88w@softbank.ne.jp
	会計	藤田 雄也	②kansai-yacht.kaikei@outlook.jp	⑤yuya-apple.0901-bbb@i.softbank.jp
	事務局長	廣島 伸一	③hiroshima@sea.plala.or.jp	⑥hiroshima@cold-air.co.jp

7.4 締切日以降の申込みについては「レイトエントリー扱い」とし、8月17日(水)17時までに限り、所定の参加料に対し50%のペナルティフィーを支払うことを条件に参加を認める。ただし、この場合パンフレットへの競技者名の掲載ができない場合がある。

7.5 8月17日(水)を過ぎてからの参加申込み(書類の不足又は不備を含む)及び競技者の追加変更登録は認めない。

7.6 応援艇・許可申請書は、大会期間中に陸上本部に提出することで申請を認めることがある。

8. 参加料

8.1 参加料等は次のとおりとする。

	レース艇			支援艇・応援艇（スロープから人力で陸揚げが可能な陸置き艇）
	国際470級	国際スナイプ級	レーザー級	
参加料	20,000円/艇	20,000円/艇	10,000円/艇	—
識別番号代	1,500円/艇	1,500円/艇	1,500円/艇	—
施設使用料	@ 9 2 0 円/艇・日(税込) × (ハーバー搬入日から搬出日までの全日数)			

8.2 レーザー級のチャーター料(大会の全期間)は次のとおりとする。

セール含む一式	セールのみ除く一式	艇体及びスパ-
11,000円	8,000円	6,000円

8.3 振込期日：8月9日(火)午前中。ただし、「レイトエントリー扱い」の場合は、8月17日(水)。

8.4 振込先：未定

9. 計測

- 参加艇は、登録(受付)時に、使用する艇の艇体に関する有効な計測証明書(470級はMEASUREMENT FORMも含む)を提示しなければならない。
- 参加艇は、登録(受付)時に、艇体及びセールについて、イクイップメント・インスペクターとして指定する各水域のオフィシャル・メジャーによる大会事前計測を完了したことを証明する「大会計測完了証明書」を提出するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けなければならない。
- 「大会計測完了証明書」発行後は、改造を行ってはならない。計測後に改造を行った場合は、各水域のオフィシャル・メジャーによる再計測を受けなければならない。

10. 登録(受付)

参加艇は、大会本部で次の書類を提示し、登録(受付)を完了しなければならない。

- 競技者の『2016年度(公財)日本セーリング連盟会員証原本』
- 監督・コーチの『2016年度(公財)日本セーリング連盟会員証原本又は写し』
- 支援艇、応援艇の艇長の『2016年度(公財)日本セーリング連盟会員証原本又は写し』
- 国際470級は、『Measurement Certificate including Measurement Form(MC/MF)(原本)』。ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え『計測登録証明書(原本)』も提示しなければならない。
- 国際スナイプ級は、『計測証明書』及び競技者の『SCIRA登録会員証(原本)』又は日本スナイプ協会各水域フリートキャプテンが発行する『2016年度SCIRA登録証明書(原本)』
- 国際470級及び国際スナイプ級は、各水域オフィシャル・メジャーの署名のある「大会計測完了証明書(原本)」

11. 帆走指示書

- 帆走指示書は、8月1日(月)までに各水域学連委員長宛にeメールで送付する。また関西学生ヨット連盟/大会ホームページに掲示する。
- 帆走指示書に対する質問は、8月23日(火)必着で大会事務局にeメールで送付すること。
◎ 大会事務局連絡先：平成28年度 関西学生ヨット連盟 委員長：青木雄太(参加申込み先と同じ)
- 質問に対する回答は、公式掲示板に掲示する。

12. 開催地

【添付図B】に、レースエリア、大会ハーバーのおおよその場所を示す。

13. コース

【添付図C】の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。帆走すべきコースを示す文字は、帆走指示書で指定される。

14. 得点

- 大会が成立するためには、国際470級、国際スナイプ級は3レース、レーザー級は1レースを完了することを必要とする。
- 艇の得点は、完了したレースが4レース以下の場合全レース得点の合計とし、5レース以上完了した場合は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 参加艇数は、今大会の当該クラスに登録(受付)を済ませた艇の数とする。

15. 安全規定

出艇申告、帰着申告方式を採用する。

16. 支援艇・応援艇

16.1 支援艇と応援艇の区別

(1) 支援艇：

監督、コーチ又はその指示する者が乗艇するエンジン付きボート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属する競技者又は艇に対し、以下の支援ができる。

(a) 乗員交替、競技者へのアドバイス、応援。

(b) 艇の交換装備の積み込み、装備交換の援助、破損した装備の引き取り。

(c) 競技者へ飲料水・食事の供与、ゴミの引き取り。

(2) 応援艇：

レースの観覧・応援専用のエンジン付ボート及びクルーザーで、競技者又は艇への援助は原則一切できないものとする。

(a) 競技者へのトイレ供与は認める。その場合、トイレ使用に関すること以外で競技者と接触することは禁ずる。

(b) 他校との共用は認められる。

1 6. 2 支援艇・応援艇を持ち込む場合は、基本的に事前登録が必要である。

(1) 登録は「参加申込書-3」(支援艇・許可申請書)「参加申込書-4」(応援艇・許可申請書)を参加申込時に郵送することにより完了する。

(2) 登録に基づき、支援艇・応援艇には受付時に「支援艇・応援艇許可証」が発行され、レース委員会から識別旗が貸与される。

(3) 支援艇・応援艇は水上において常に識別旗を掲揚しなければならない。

1 6. 3 支援艇・応援艇は、「支援艇・応援艇許可証」及び帆走指示書に記載されているレース委員会からの指示事項を守らなければならない。ハーバー内においては、引き波を立てないようにデッドスローで航行しなければならない。

1 6. 4 レース委員会艇に『数字旗8』が掲揚された場合、支援艇・応援艇は、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

1 6. 5 レース委員会の指示に従わなかった支援艇・応援艇は、以後出艇が許可されないほか、当該支援艇・応援艇に関わる艇に対してプロテスト委員会の裁量によるペナルティーが課せられることがある。

1 6. 6 応援艇のみ追加登録を認めるが、できる限り事前に登録すること。

1 6. 7 「スロープから人力で陸揚げが不可能な支援艇・応援艇」の係留については、新西宮ヨットハーバー株式会社に直接申し込むこと。

1 7. 賞

1 7. 1 賞は次のように与える。

クラス	賞状	賞品	小澤杯(持ち回り)
国際470級	1位～6位	1位～3位	1位
国際スナイプ級	1位～6位	1位～3位	1位
レーザー級	1位～3位	1位～3位	—

1 7. 2 国際470級と国際スナイプ級の優勝(1位)艇のうち、平均得点の少ない艇に最優秀選手賞(関山旗：持ち回り)を授与する。平均得点と同じの場合は成立したレース数が多いクラスの艇を上位とする。成立したレース数も同じの場合は規則A8を適用する。

1 8. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物的損傷又は人身傷害若しくは死亡によるいかなる責任も負わない。

1 9. 大会期間中の競技者の肖像権

本大会期間中に主催団体が撮影する艇、競技者の写真・ビデオ等の映像に関する権利は、主催団体に帰属する。

2 0. 問い合わせ先

本大会に関する問い合わせ先は、以下のとおりとする。

◎ 平成28年度 関西学生ヨット連盟 委員長：青木雄太(参加申込み先と同じ)

2 1. 追加情報

9月1日(木)は、16:00以降は出艇してはならない。

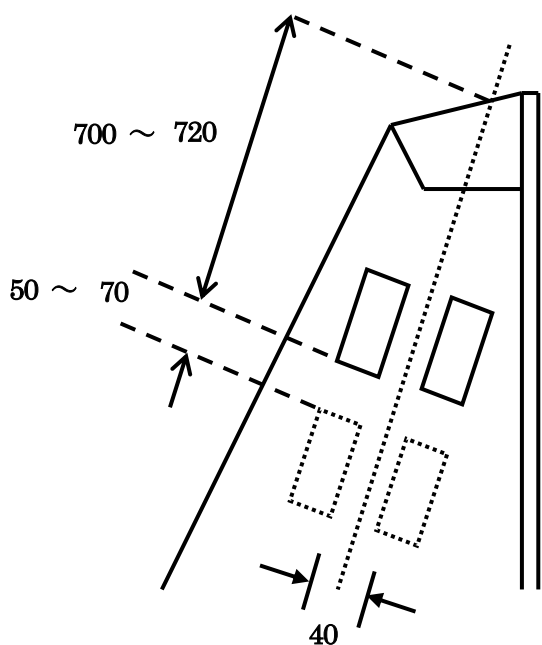
2 2. ドーピング検査

(未定)

以上

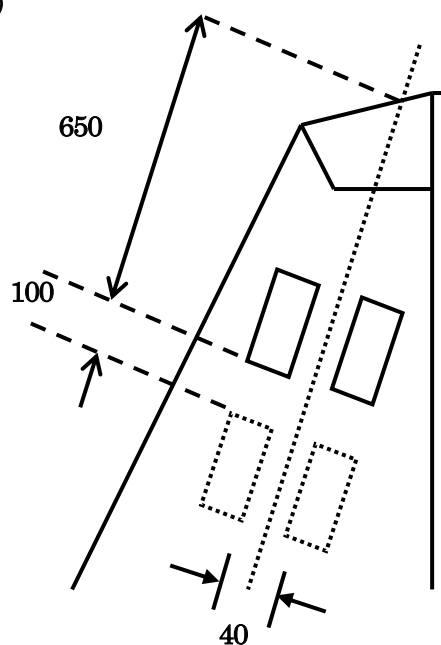
【添付図A】 識別番号 貼付位置

<国際470級>

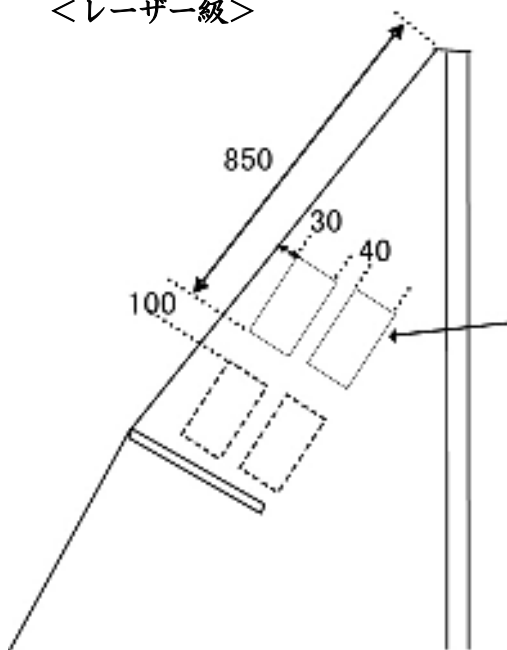


<国際スナイプ級>

(単位 : mm)

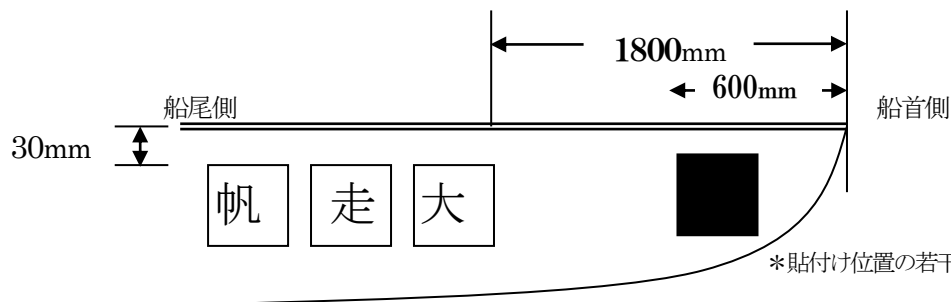


<レーザー級>



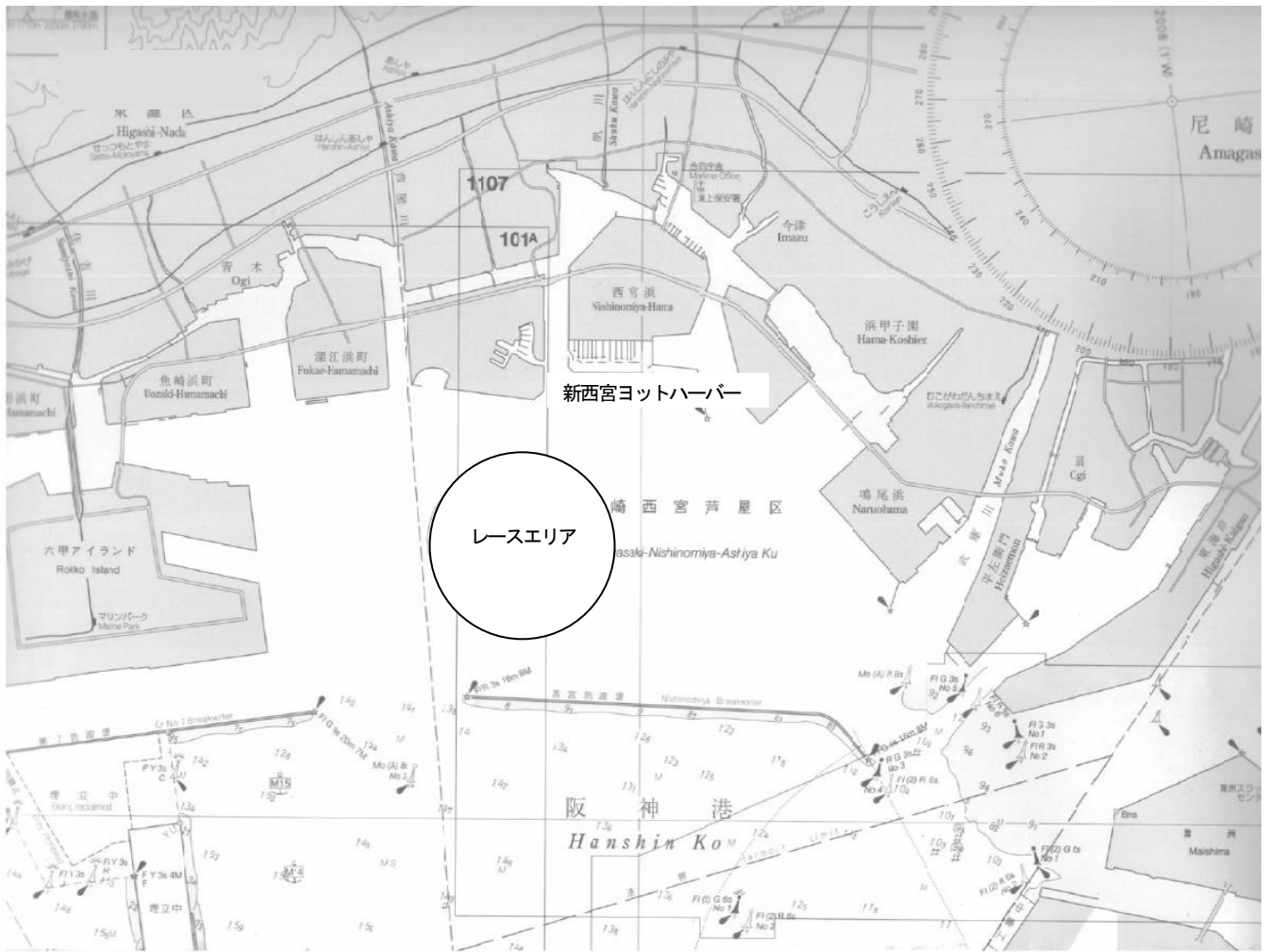
- スターボード側とポート側は、重ならないように貼ること。
- 1桁の場合は、右に寄せず真ん中に貼ること。
- 識別番号の色 :
 国際470級 赤。
 国際スナイプ級 青。
 レーザー級 赤。

•バウナンバーの貼付け位置 (■ の部分。スターボード側、ポート側の両側)



*貼付け位置の若干の誤差は無視する。

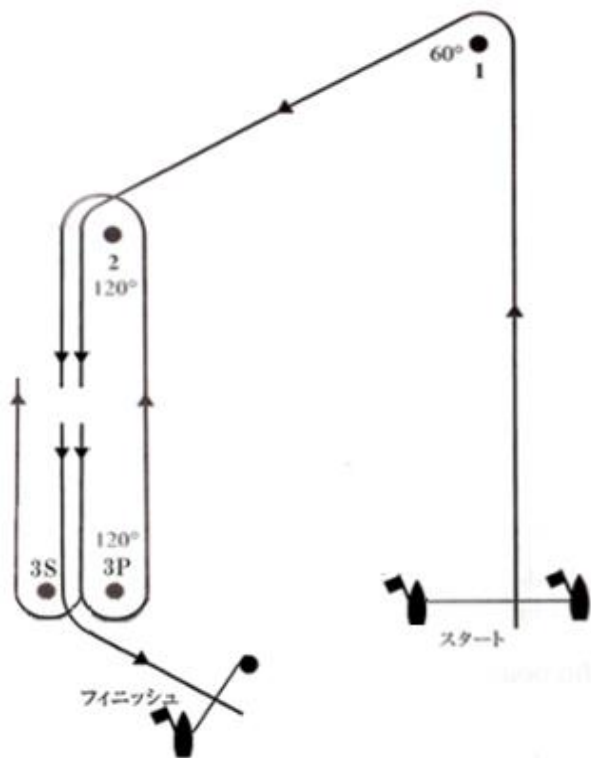
【添付図B】 レースエリア、大会ハーバーのおおよその場所



【添付図C】 コース見取り図 (a) 国際470級・国際スナイプ級

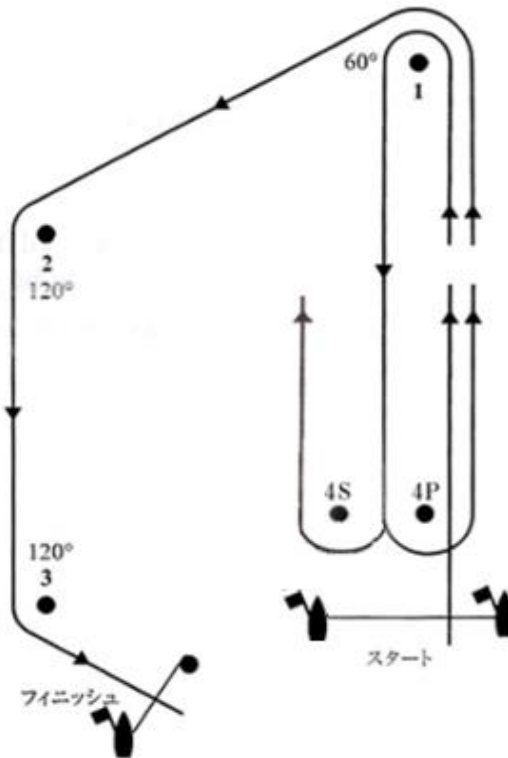
コース“ 0 ”

- O2: Start→1→2→3S/3P→2→3P→Finish
- O3: Start→1→2→3S/3P→2→3S/3P→2→3P→Finish



コース” I ”

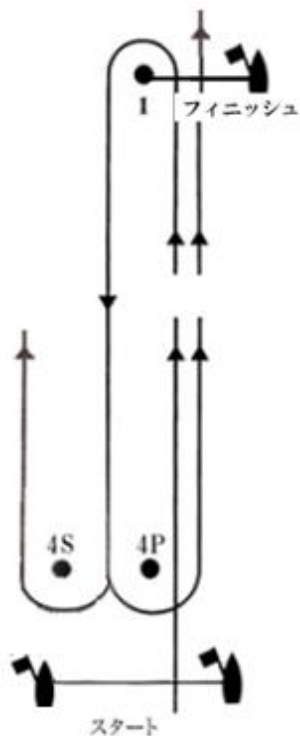
- I2: Start→1→4S/4P→1→2→3P→Finish
- I3: Start→1→4S/4P→1→4S/4P→1→2→3P→Finish



コース見取り図 (b) レーザー級

コース “ W ”

- Start→1→4S/4P→1 (Finish)



コース “ LR ”

- LR1: Start→1→4P→Finish
- LR2: Start→1→4S/4P→1→4P→Finish

